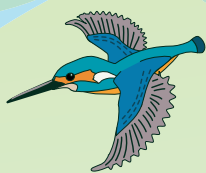
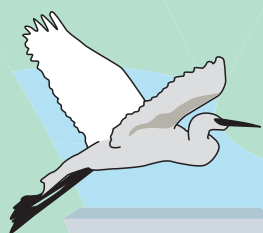


しみんさん か がたい ものちょうさ
市民参加型生き物調査

み ちが い もの
身近な生き物さがし

す かん
ミニ図鑑 2024

あなたの^{まわ}周りにいる
生き物^{い もの}を^{しら}調べてみよう！



ち ば し ゆた し ぜん ふうど めぐ おお い もの せいそく
千葉市は豊かな自然と風土に恵まれ、多くの生き物が生息しています。

この調査は、市民のみなさんの協力により、市内の生き物の生息状況を
把握するとともに、自然環境に興味を持ってもらうこ
とで自然の大切さに気づき、生物多様性を保全するた
めのきっかけとなることを目指しています。

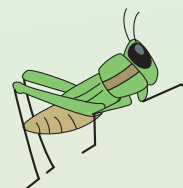
これまでに、みなさんからレポートいただいた結果
を、ミニ図鑑としてとりまとめました。



ちょうさ しょうさい
調査の詳細は
こちらから



 千葉市



はなみがわく
花見川区



ヤマユリ B



ハダロトンボ C



ベンケイガニ B



コサギ BB



キセキレイ BB



ニホンカナヘビ D

いなげく
稲毛区



ヤブラシ



ミスヒキ



シロバナタンポポ



オンブバッタ



ナミテントウ



ハシボソガラス

みはまく
美浜区



ヒガンバナ



ホトケノザ



イチモンジセセリ



コアシサシ AB (幼鳥)



サンコウチョウ A

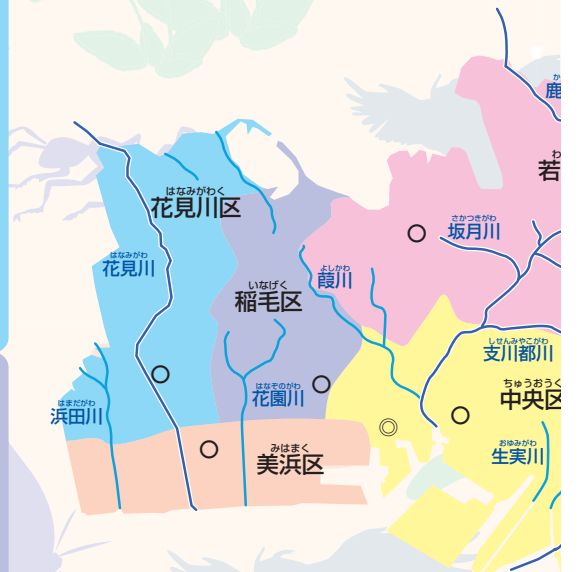


ミソサザイ C

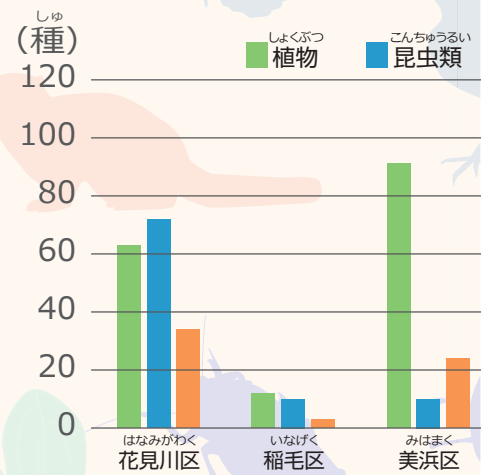
みぢか
身近な生き

ちばし
千葉市 いきも

2022 ~ 2024 年度の「身近な生き物」からレポートされた主な生き物を区



区ごとのレポ



レッドリストのカテゴリ

環境省 (2020)
絶滅 (EX)、野生絶滅 (EW)、絶滅危惧 I 類 (EN)、絶滅危惧 II 類 (VU)、絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)
千葉県 (動物 2019)
消息不明・絶滅生物 (X)、最重要保護生物 (A)、要保護生物 (C)、一般保護生物 (D)
千葉県 (植物・菌類 2017)
消息不明・絶滅生物 (X)、野生絶滅生物 (EW)、最重要・重要保護生物 (A-B)、要保護生物 (C)
千葉市
消息不明・絶滅生物 (X)、最重要保護生物 (A)

アオダイショウDC

しよく ぶつ
植 物



とく 特 とくていがいらいせいぶつ
特定外来生物

はな さ じ き
花が咲く時期

はる 春 なつ 夏 あき 秋



たんぼ



かわ 川・水路



いけ 池・沼



しが いち 市街地・公園



はたけ 畑・草地



はやし 林

は ば しょ
生えている場所



ドクダミ

なつ ちゅうしん じく あわ きいろ はな
夏に中心の軸に淡い黄色の花を
たくさん咲かせます。毒や痛みに
効く「毒痛み」から名前がつけら
れたとされています。林などの湿
り気のある日陰で見られます。

なつ 夏



タカサゴユリ

たいわんげんさん がいらいしゅ なつ
台湾原産の外来種です。夏から
秋に少し紫色がかった花を咲かせ
ます。道端や河原、山間部などで
広く見られます。

なつ 夏

あき 秋



ネジバナ

はる なつ あわ べにいろ はな
春から夏に淡い紅色の花をらせ
ん状につけて咲かせます。花のつ
き方は一定ではなく、ねじれ方が
変わることもあります。日当たり
の良い草地などで見られます。

はる 春

なつ 夏



アフリカハマユウ

みなみ げんさん がいらいしゅ
南アフリカ原産の外来種です。
夏に白い花を咲かせます。日当た
りの良い砂地で見られます。イン
ドハマユウとは、花に2cm程の
柄があることで区別できます。

なつ 夏



ヒガンバナ

あき さんけいじょう あざ あか はな
秋に散形状の鮮やかな赤い花を
咲かせます。古くに中国から稲作
とともに伝わったと考えられてい
ます。道端や林縁などで見られま
す。

あき 秋



ツククサ

なつ あき あざ あお はな さ
夏から秋に鮮やかな青い花を咲
かせます。昔から花の汁は染料に
利用されてきました。道端などで
普通に見られます。

なつ 夏

あき 秋



ムラサキツメクサ

ぼくそう に ほん つた
牧草として日本に伝わったヨー
ロッパ原産の外来種です。春から
夏に紅紫色の花を球状につけて咲
かせます。空き地などで見られ、
やや乾燥した場所を好みます。

はる 春

なつ 夏



カラスウリ

なつ あき しろ はな さ
夏から秋に白い花を咲かせま
す。花は夕方から咲き始め、翌朝
にはしぼんでしまいます。つる性
で、林縁や平地のやぶで木に絡み
ついた状態で見られます。

なつ 夏

あき 秋



メマツヨイグサ

きた げんさん がいらいしゅ
北アメリカ原産の外来種です。
発芽した年はロゼットで越冬し、
翌年の夏から秋に黄色い花を咲か
せます。道端や河原などで見られ
ます。

なつ 夏

あき 秋





ユウゲショウ

北アメリカ南部や南アメリカ原産の外来種です。園芸植物として持ち込まれたものが野生化しています。春から秋にかけて濃い桃色の花を咲かせます。

はる 春

なつ 夏

あき 秋



ナガエツルノゲイトウ

南アメリカ原産の外来種です。主に河川などで見られます。日当たりが良く栄養が豊富な場所に茎などが流れ着くと、急激に増えてしまいます。

とく 特

はる 春

なつ 夏

あき 秋



オオカワチシャ

ヨーロッパからアジア北部原産の外来種です。主に河川や湿地などの水辺で見られます。在来種のカワチシャと発芽能力を持つ雑種を作ってしまうます。

とく 特

はる 春

なつ 夏



アメリカオニアザミ

ヨーロッパ原産の外来種です。夏から秋に球状の紅紫色の花を咲かせます。河原や草原などで見られ、日当たりの良い湿った場所を好みます。

なつ 夏

あき 秋



ヒメジョオン

北アメリカ原産の外来種です。夏から秋に白い花を咲かせます。畑地や市街地、高山帯にまで広く見られます。

なつ 夏

あき 秋



ヤエザキオオハンゴンソウ

北アメリカ原産の外来種であるオオハンゴンソウの園芸品種です。地中に根が残っていれば生きてしまうほど生命力が強いです。湿った場所を好みます。

とく 特

なつ 夏

あき 秋



ミツバオオハンゴンソウ

北アメリカ原産の外来種です。茎の下部につく葉が3裂することが名前の由来です。水はけの良い場所を好み、乾いた土地でも育ちます。

とく 特

なつ 夏

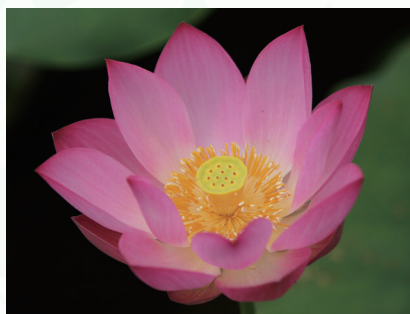
あき 秋



千葉市の花 オオガハス



オオガハス（大賀蓮）は、ハス科ハス属の多年草です。花見川区にある約2,000年前の落合遺跡で発見された種子から開花した古代蓮です。発見者であり、発芽を成功させた大賀一郎博士の名に因んで、名づけられました。1993年に「市の花」に制定されました。



昆虫・クモ類



とく特 特定外来生物

はる春

なつ夏

あき秋

ふゆ冬

ねんかん年間

※成虫・成体が見られる時期

見られる時期

見られる場所



たんぼ

川

水路

池

沼

市街地

公園

畑

草地

林



ハグロトンボ

真っ黒な翅が特徴のカワトンボのなかまです。雄の腹は緑で金属光沢があります（写真は雄）。岸際に植物が繁茂する川や水路で見られます。

はる春

なつ夏

あき秋



シオカラトンボ

若い時は淡い黄色ですが、雄は徐々に灰色がかった青色に変わります（写真は雄）。田んぼや水路、公園の池などで見られます。最も身近なトンボのひとつです。

はる春

なつ夏

あき秋



オオシオカラトンボ

若い時は黄色で、雄は徐々に灰色がかった青色に変わります（写真は雄）。シオカラトンボより色が濃く、翅の付け根が黒くなります。

はる春

なつ夏

あき秋



ノシメトンボ

翅の先にこげ茶色の模様があるアカトンボ（アカネ属）です。アカトンボのなかでは、大きめの体です。田んぼの周りなどで見られます。

はる春

なつ夏

あき秋



ハラビロカマキリ

体の色は黄色がかった緑色か紫褐色で、前翅に斑点があります。名前は「ハラビロ」ですが、体全体が幅広いです。林縁や植え込みの低木などで見られます。

なつ夏

あき秋



オオカマキリ

体の色は緑色か淡褐色で、内側の翅には紫褐色の斑点があります。林の周りの低木帯にすみませんが、市街地でも見られます。

なつ夏

あき秋



ヤブキリ

全身が鮮やかな緑色か黒褐色の色合いです。幼虫の頃は植物を多く食べますが、成虫になるとセミなどを捕まえて食べるようになります。やぶなどで見られます。

なつ夏

あき秋



ショウリョウバッタ

全身が緑色もしくは茶色で、雌の方が大きくがっつりとしています（写真は雌）。雄は「チキチキ」と音を出して飛びます。空地や公園の草地で普通に見られます。

なつ夏

あき秋



クルマバッタモドキ

全身が茶色っぽい色合いです（まれに緑色）。背中に「X」の形に見える模様があります。背丈の低い草がまばらに生える場所で見られます。

なつ夏

あき秋





イボバッタ

胸と背面にいぼ状の突起があり、体の色は灰褐色です。昼間に良く活動し、飛び回ります。畑や草地などの乾いた場所で見られます。



ツチイナゴ

成虫は名前のとおり、土のような色（茶色）をしています。クズなどの葉が広い植物を好んで食べます。バッタとしては珍しく、成虫で冬を越します。



アブラゼミ

日本では最も身近なゼミのひとつですが、茶色（不透明）の翅は世界的には珍しい特徴です。「ジリジリジリ…」と鳴きます。



ヨコツナサシガメ

腹の周りの広がりや横綱の化粧まわしのように見えます。集団で行動をし、越冬の時も木の幹のくぼみなどに集まります。山地の林などに見られます。



イチモンジセセリ

翅の銀色の紋の並び方から、この名前がつけられました。集団で大移動することが知られています。市街地や水田などで見られます。



ベニシジミ

前翅の表は黒い斑点のあるオレンジ色にこげ茶色の縁取りがあります。裏は表のこげ茶色の部分が灰色です。草地で普通に見られます。



ツマグロヒョウモン

翅の表はオレンジ色に黒い斑点がたくさんあります。雌は翅の先に黒い模様があります（写真は雄）。市街地などで普通に見られます。



アカボシゴマダラ

中国と朝鮮半島、台湾原産の外来種です。後翅の縁に目立つ赤色の斑があります。在来種のゴマダラチョウなどと餌を巡って競争します。



キタキチョウ

黄色の翅に黒色の縁取りがあります。雄と雌は似ていますが、雌の翅は雄より淡い黄色です。市街地や畑などで見られます。

